

# 美空 ~MISORA~ 第184号

発行日:2024年12月27日  
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク  
理事長 高田 昇

## 目次 INDEX

- ・活動報告  
東京理事会・合同理事会・北海道活動委員会 …… 1
- ・NPO 無電柱ネット 年間活動報告 …… 2
- ・第7回技術委員会 OSAKA 報告 …… 5
- ・東京都省エネ・再エネプラットフォーム報告 …… 7
- ・NPO・HP に企業紹介をのせませんか ……10



### 【活動報告】

2024年12月5日(木)17:00~17:20

#### 東京理事会

場所:住友林業会議室 C-2 WEB: Cisco Webex

参加者: 8名

#### ■議事内容■

1. 伊津支部長より
  - ・本日の活動委員会の打ち合わせ
2. 2月12日の活動委員会の予定について
3. 4月の活動委員会について
  - ・4月以降の予定を住友林業さまと相談。4/22を検討。
4. 事務局報告
5. 東京支部の次年度方針
6. 次回理事会は、1/15(水)17:00~

2024年12月5日(木)17:30~18:00

#### 合同理事会

場所:住友林業会議室 C-2 WEB: Cisco Webex

参加者: 10名

#### ■議事内容■

1. 高田理事長より
 

今年は11月に入ってから台風・豪雨が頻発して、石川県をはじめ、沖縄、九州などが大きな影響を受けました。このような傾向は、もう今年に限らず、今後とも続いていくものと専門家は警報を発しています。一方で国においては、防災庁の準備組織を立ち上げています。

地方創生の動きも加速する中で、私たちの行動計画も全国的な視野を広げるとともに、地中化の実現することに一層の力を入れていきたいと思ひます。

#### 2. 次年度方針について

- ・毎年、高田理事長次年度方針をうかがって、それにプラスαの要素を取り入れている。皆さんに次年度方針への意見をうかがいたい。
- ・【北海道支部】現在検討中とのこと。NPOの役割として陳情・要望をしていったほうがよいのでは？
- ・【秋本理事】機器交渉についての改善策を考える。
- ・【佐々木理事】工事期間を短くするには、交渉や施工の工夫と同時に、製品の軽量化を図らないといけなひ。

電線共同溝とは別の軽くて持ち運びやすい樹脂製のものでないと、狭隘道路の無電柱化は不可能になる。それに加えて荷重の問題をクリアしていけば、工事期間は短くなるし、自治体担当者も興味を持ってもらえるし、新しいメーカーも参入しやすくなる。そこから議論が広まり、会員も増えるはず。

- ・【佐々木理事】行政が興味を持ってくれば、新しい企業が参画することになるのでは。

### 3. 今後の予定

12/9(月) 北海道活動委員会

12/10(火) 無電柱化出張出前授業 札幌市立伏見小学校

1/15(水) 東京理事会、合同理事会(WEBのみ)

1/24(金) 第8回全国技術委員会 OSAKA

15:00~16:45 大阪市生涯学習センター第4研修室

2/12(水) 東京理事会、合同理事会

東京活動委員会 18:00~17:00 すぎ

みち研分室 前川理事の海外事例紹介を中心に

3/12(水) 東京理事会、合同理事会(WEBのみ)

※6/5(木) 首長会定期総会

※7/23(水)~25(金) メンテナンスレジリエンス TOKYO

・第13回無電柱化推進展

※11月に首長会第3回勉強会 下関で予定



2024年12月9日(月)17:00~18:00

#### 北海道活動委員会

- ・11月5日~10日に開催された、北海道全道一斉パネル展、札幌チ・カ・ホイベントの報告、函館市役所でのパネル展示の報告などを関係者より報告いただく。
- ・12/10に行う無電柱化小学校無電柱化出張出前授業の打ち合わせ
- ・NPO事務局報告を行う

# NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

特定非営利活動法人  
電線のない街づくり支援ネットワーク  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY



理事ならびに、会員・関係者の皆様、今年1年間ご支援ならびにご協力をいただき、ありがとうございました。  
本年の振り返りをさせていただきます。  
※以下の項目中、青文字は、国交省・首長会ほかの主催でNPOが参加

1月17日 東京理事会・合同理事会（写真）



1月24日 無電柱化を推進する市区町村長の会令和5年度第4回勉強会 [👉クリック](#)（鎌倉市役所。写真は大庭先生の講演）



1月26日 第3回全国技術委員会 OSAKA



1月30日 令和5年度第5回（R5-5）民間SWG（サブワーキンググループ）  
1月31日 R5-5 無電柱化推進技術検討会  
2月6日 沖縄活動委員会  
2月8日 小学校無電柱化出前授業



（札幌市立伏見小学校4年生）

2月14日 北海道開発局小樽開建 無電柱化勉強会  
2月15日 東京理事会・合同理事会  
東京活動委員会 前川理事の海外事例紹介（アイスランド） [👉クリック](#)  
2月28日 無電柱化のあり方検討委員会



3月5日 R5-6 民間SWG  
3月8日 国交省都市局オンラインセミナー  
3月13日 R5-6 無電柱化推進技術検討会  
東京理事会・合同理事会  
3月14日 那須塩原温泉無電柱化勉強会



3月22日 第4回全国技術委員会 OSAKA  
4月8日 沖縄活動委員会 内閣府開発建設部企画調整官の関様の講演 [👉クリック](#)  
4月18日 東京理事会・合同理事会  
東京活動委員会 東京都建設局 無電柱化推進担当課長の中田様の講演 [👉クリック](#)  
4月19日 北海道活動委員会  
5月10日 沖縄伊平屋村無電柱化勉強会  
5月17日 第5回全国技術委員会 OSAKA  
5月23日 合同理事会東京理事会  
5月29日 静岡県道路利用者会議総会で井上事務局長が記念講演  
6月4日 R6-1 低コストWG

6月13日 令和6年度無電柱化を推進する市区町村長の会定期総会 [講演動画の紹介👉クリック](#)



6月14日 プロジェクトN・ミリケン・ジャパン様、繊維さや管製品説明会



6月24日 合同理事会・第17回NPO社員総会  
NPO各支部方針発表・NPO総会セミナー [国交省の中屋様・NPO森山顧問の講演報告と動画👉クリック](#)

6月25日 中部支部勉強会



6月26日 沖縄活動委員会  
北海道開発局釧路開建 無電柱化勉強会

6月27日 東京理事会・東京活動委員会



6月30日 大分市ポルトソール商店街の無電柱化取材

7月11日 R6-1 民間SWG

7月17日 北海道活動委員会

7月18日 東京理事会・東京活動委員会

7月24日～26日 メンテナンス・レジリエンスTOKYO、  
第12回無電柱化推進展(東京ビッグサイト)

[各ミニセミナーの報告と講演動画の紹介👉クリック](#)



無電柱化推進展、当NPOブースで実施したミニセミナーでの講演の様子



無電柱化推進展、コンストラクションステージでの井上事務局長の講演

8月1日  
夏季インターン  
生始動



8月8日 合同理事会・東京理事会・東京活動委員会

8月9日 広島勉強会

9月3日 九州支部活動委員会

9月4日 R6-2 低コストWG

9月5日 北海道活動委員会



9月10日 沖縄活動委員会

9月11日 R6-2 民間SWG



9月19日 東京理事会・合同理事会  
9月27日 第6回全国技術委員会 OSAKA



10月2日 国交省、第1回技術検討会  
10月16日 [つくば市無電柱化住宅見学会](#) [つくば市役所都市計画部学園地区市街地振興課](#) 渋谷課長の講演報告・講演ほか動画報告 [👉クリック](#)



10月28日 北海道活動委員会  
11月6日 R6-3 民間 SWG  
11月5~10日 北海道全道一斉パネル展



11月9日 国交省近畿地整大阪国道事務所主催、無電柱化の日イベント（左写真）



11月10日 電柱化の日啓発イベント in お台場（右写真） [概要報告👉クリック](#)  
11月11日 無電柱化の日無電柱化まちあるきショート動画コンテスト（次段に会場の写真あり）  
[結果発表プレスリリース（動画あり）👉クリック](#)



241111無電柱化の日 無電柱化まちあるきショート動画コンテスト スポンサーCM紹介、最後のまとめ

11月18日 [無電柱化を推進する市区町村長の会 R6-3 勉強会（福井県小浜市）講演動画の紹介👉クリック](#)



11月24日 岡山県矢掛町視察会



11月26日 第7回全国技術委員会 OSAKA

12月5日 東京理事会・合同理事会・東京活動委員会



無電柱化まちあるきショート動画コンテスト受賞者への賞状と賞金の授与



12月9日 北海道活動委員会

12月10日 小学校無電柱化出前授業(札幌市立伏見小学校5年生)

# 11/26 に開催した 第7回 全国技術委員会 OSAKA 概要報告と次回のご案内

## T-25は絶対か？

自動車荷重の基準緩和について  
～前編～

2024年11月26日

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

11月26日に行われた全国技術委員会 OSAKA では、「T-25は絶対必要か?」と題して、大阪の井上理事より冒頭の説明、佐伯理事よりT-25の根拠となる資料を丁寧に説明され、問題提起をしたあと、参加者との意見交換をさせて頂きました。以下、資料の一部を紹介します！

## T-25は必要！！

- 道路の保全やメンテナンスにおいて長く実績のあるT-25の規格は絶対であると考えられます。
- 但し、近年全国で増えているラスト1マイル部分で道幅等や進入路の関係で電線共同溝の方式や規格を当てはめると**施工が困難な場所が増えており高コストにつながっている**のでその状況を鑑みて通行車両にあった設計規格を合理的に採用できる道筋を考えます。

### 1. 電線共同溝に係る構造物の活荷重

電線共同溝(道路保全センター)

電線共同溝

(8) 活荷重

活荷重として、次の群荷重、または自動車荷重を考慮する。

(1) 歩道等内の電線共同溝に対する活荷重

原則として50kN/m<sup>2</sup>の等分布荷重の群荷重とする。

(2) 歩道等内を車両が通行する可能性がある場合には、自動車荷重は原則としてT25程度とするが、通行する車両の重量、輪数、軸距に応じ、自動車荷重を低減させてもよい。

(3) 車道内の電線共同溝に対する活荷重

原則としてT25程度とするが、通行する車両の重量、輪数、軸距に応じ、自動車荷重を低減させてもよい。

標準T-25:  $f=0.4 \sim 700kN$   
歩道車高乗入部T-25:  $f=0.1 \sim 550kN$   
の事と取られる。

確かにT-25と書かれている。



### 2. 各構造物に対する自動車荷重

#### ① 電気設備のT-25荷重・・・混同しやすいので注意(OUT)

※時速20km程度までの構内を想定した簡易式の計算



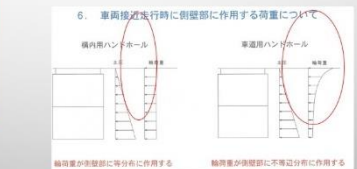
「国土交通大臣官房官庁営繕部監修」  
「電気設備工事監理指針」平成19年度版

1.16.5マンホール、ハンドホール

資料4.2.1 強度計算の考え方

(a) 経路場所

【居住】及び【標準型】では、ブロックマンホール又はブロックハンドホールを一般的な施設の構内に設置するという前提で、その構造条件を想定している。  
【居住】及び【標準型】は、歩道等内を、構内を通行する車両の重量は十分に考慮されているものとして、車輪による荷重を想定している。また、許容水平荷重は後述の重量による水平土圧と種類による水平土圧の和であるが、【標準型】に記載している数値は当該マンホール又はハンドホールの構造に合わせた土圧となっている。  
【居住】及び【標準型】は、公道等で頻りに車両が通行する場所や構内であっても**重車荷が相当の速度で走行する場合を対象範囲外**としているので、このような場合はマンホール又はハンドホールの構造条件の見直しを検討する必要がある。(P984)



### 2. 各構造物に対する自動車荷重

構造物の設計に採用される自動車荷重は、構造物により異なる。

#### ② 舗装の場合(普通道路と小型道路に分類)



(3) 舗装の性能評価

① 普通道路

普通道路の性能評価は、舗装構造に起因する荷重を繰り返し加えた場合に、舗装に発生するひび割れや変形が許容範囲内に収まるように設計する。また、舗装の性能評価は、舗装構造に起因する荷重を繰り返し加えた場合に、舗装に発生するひび割れや変形が許容範囲内に収まるように設計する。また、舗装の性能評価は、舗装構造に起因する荷重を繰り返し加えた場合に、舗装に発生するひび割れや変形が許容範囲内に収まるように設計する。

② 小型道路

小型道路の性能評価は、舗装構造に起因する荷重を繰り返し加えた場合に、舗装に発生するひび割れや変形が許容範囲内に収まるように設計する。また、舗装の性能評価は、舗装構造に起因する荷重を繰り返し加えた場合に、舗装に発生するひび割れや変形が許容範囲内に収まるように設計する。

交通区分	舗装構造別(標準型)	基準値
A	300mm以上	110000
	400mm以上	130000
B	300mm以上	70000
	400mm以上	80000
C	300mm以上	40000
	400mm以上	45000

表-2.3.2 道路構造別の基準値(普通道路、標準型) (単位: kN)

交通区分	道路構造別	基準値(単位: kN)
A	300mm以上	31,000,000
	400mm以上	7,000,000
B	300mm以上	1,000,000
	400mm以上	150,000
C	400mm以上	30,000
	300mm以上	7,000
D	300mm以上	1,500
	400mm以上	1,500

49kN      17kN

### 2. 各構造物に対する自動車荷重

構造物の設計に採用される自動車荷重は、構造物により異なる。

#### ④ 下水道用マンホールふたの場合(T-25とT-14)・・・NTTもこれに近い？

##### 2. 種類

ふたと枠の種類は、表-1のとおりとする。なお、性能区分については、表-2のとおりとする。



種類	呼び	主な使用場所(参考)
T-25	300	道路一般 車道本線内
	400	
	500	
	600 <sup>1)</sup>	
	900	
T-14	300	歩道又は大型車の通行の少ない道路 路肩や非常駐車帯
	400	
	500	
	600 <sup>1)</sup>	
	900	

注1. 転落防止装置を取付けることができる。

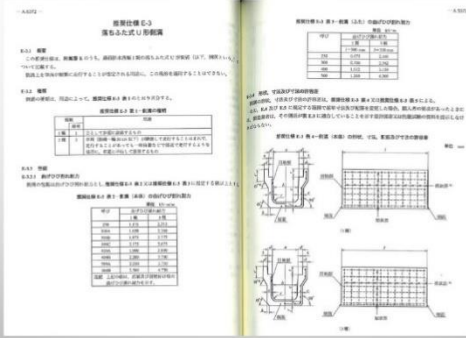
注2. 900-600は親子式(2枚ふた)のふたを示し、子ふたには呼び600のふたを使用する。また、子ふたには、転落防止装置を取付けることができる。

## 2. 各構造物に対する自動車荷重

構造物の設計に採用される自動車荷重は、構造物により異なる。

### ⑤道路側溝の場合(車両制限令の1輪荷重)

…製品の破損交換を前提としたT-25緩和措置があり検討から除外(水の場合は交換が容易だがケーブルが入ると交換が困難)OUT



## 2. 各構造物に対する自動車荷重

構造物の設計に採用される自動車荷重は、構造物により異なる。

### ⑥グレーチングの場合

荷重

同車軸の各車軸の荷重は、道路標示が優先事項になります。

車軸	総荷重(kN)	後輪間隔(kN)	車軸間隔(m)	車輪幅員(m)
T-25	250	100	20	50
T-20	200	80	20	50
T-14	140	50	20	50
T-6	60	24	20	24
T-2	20	8	20	16

歩道: 5.0kN/m<sup>2</sup>の等分布荷重

前輪と後輪の荷重分布

## 3. 現在の無電柱化の手法との整合性

T-25の正当な荷重設計方法として、適しているのは

- (ア)電線共同溝
- (イ)舗装の規格
- (ウ)道路構造令
- (エ)下水道(と鉄蓋)

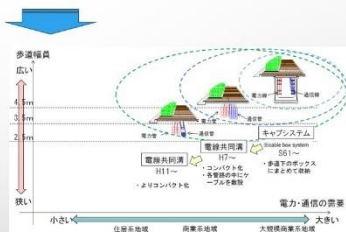
上記をベースとして道路交通法上の全ての車両が通行可能な道路と、そうではない道路を条件分けした場合に過大になると考えられるケースでT-25について検討を行えば、より軽く安く施工がスピーディな製品や工法につながるのではないか？

特に近年全国で増えているラスト1マイル部分で施工が困難な場所が増えている事も無電柱化(電線共同溝と分ける?)の規格について再検討をすべきではないか？

## 3. 現在の無電柱化の手法との整合性

道路構造物それぞれに規模にあわせた活荷重の考え方がある。そもそもそれぞれの構造物は簡単に破壊されていない…

「無電柱化」の整備は小型化・浅層化が進んでいるのに「活荷重の規格」はそのまま。



構造物の規模にあわせた「活荷重の規格」が必要では？

## 検討の前に…緊急車両の扱い

○通行禁止及び駐車禁止の規制からの除外並びに通行及び駐車許可に係る事務の取扱いについて(通達)

平成19年9月14日達(交規)第325号(令和3年4月1日施行)

### 2 交通規制の対象から除く車両

道路交通法(昭和35年法律第105号。以下「法」という。)第4条第2項後段及び規則第2条の3の規定により、通行禁止及び駐車禁止の規制の対象から除く車両として規定している各車両は、それぞれ次の車両をいうものとする。

#### (1) 通行禁止規制から除外される車両

ア 除外対象となる通行禁止規制(通行禁止除外(指定)の対象となる交通規制は、規則第2条の3第1項第3号に規定する標識に示されることから、一方通行規制や除外(指定)の対象となる規制標識に関連して設置されていない指定方向外進行禁止規制については、通行除外(指定)の対象とならない。～中略～地方公共団体、警察、道路管理者、消防団等の関係機関がこれら緊急事態における警告のために使用中の車両をいう。

※関係法令の適用に準じた条件の設定…例えば大きな消防車であっても消火の為に構内は普通に通行する。(電気設備工事監視指針の応用等)

次回、乞うご期待！

TO BE CONTINUE…

## 次回(1/24)の 第8回 全国技術委員会 OSAKA のご案内

次回の第8回全国技術委員会 OSAKA は、1月24日(金)、15時～16時45分で大阪市立総合生涯学習センター5階 第4研修室で行います。

今回ご紹介した第7回全国技術委員会 OSAKA の続きを致します。

T-25の問題は、

今後、ラストワンマイルの無電柱化を進める上で、今後カギを握るポイントになり、規制が緩和されると、新たな技術が求められます。

様々な方面からのご参加を募ります！

HPのご案内と参加の申込は、下記リンクよりお願いいたします。

◆当 NPO の HP のご案内

[https://nponpc.net/info/20250124npo\\_osaka\\_meeting-vol-8/](https://nponpc.net/info/20250124npo_osaka_meeting-vol-8/)

参加はコチラから 🙌



12/18 実施

# 東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム部会での 当 NPO 活動紹介発表の報告

## 2 団体の活動紹介

特定非営利活動法人  
**電線のない街づくり支援ネットワーク**  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

## 活動紹介

<https://nponpc.net/>

12月18日(水)、当NPOが加盟しています東京都省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム第3回部会で、塚田より当NPOの活動紹介をしました。資料の一部をご紹介させていただきます(巻末に資料URLあり)

## 2 団体の活動紹介

**特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク**  
大阪・東京・北海道・沖縄・中部・九州を拠点に全国で無電柱化支援事業を展開(2007年に認定)

設立17年  
会員151社

全国ネットワーク  
全国で無電柱化を支援

①

①当NPOは、2007年の4月に設立され、今年で17年目になります。大阪に本部を置き、東京・北海道・沖縄・中部・九州の5カ所に支部をおく約150の法人・個人の会員をもつ団体です。

②では、具体的な活動内容を見てみましょう。

1の技術セミナーは、会員や自治体担当者を中心に東京・大阪を中心に勉強会を開催しています。

2の支援事業は、地元商店街やその他の無電柱化をしたいというお問い合わせに対応しています。現地に向いて地元の住民説明会などをサポートします。

3のシンポジウムは、200名以上の会場を借りて大規模なイベントを主要都市で開催、セミナーはそれより小規模な会場で実施しています。最近ではWEBでも参加できるハイブリッド開催が主流です。

## 2 団体の活動紹介

**NPOの取り組み**

**1. 技術セミナー(活動委員会・勉強会)**  
無電柱化の技術面、ノウハウ、法制度など定期的に検証します。大学・行政・民間の専門家を招いて、会員参加で行います。大阪・東京・沖縄・北海道・名古屋などで開催。

**3. シンポジウム・セミナー**  
街づくりや防災の専門家、電線管理者を招いた専門セミナーや無電柱化推進のためのシンポジウムを全国各地で開催しています。東京・大阪・沖縄・札幌・名古屋・金沢・仙台・福岡・広島で開催。また、無電柱化を知っていただくための推進展にも出展しています。

**2. 無電柱化支援事業**  
電柱や電線のない安全安心で美しい景観の街づくりを実施したいと思っているすべての機関(不動産・デベロッパー・行政等)を技術面・ノウハウ面で支援します。  
←自治会、商店街組合、自治体など、無電柱化勉強会を開いて合意形成を進めます。

②

③続いて4では、無電柱化の施工現場や無電柱化された住宅地、重伝建地区などを実際に見る機会をつくっています。見て、聴いて、意見交換をする機会を設けています。

## 2 団体の活動紹介

**NPOの取り組み**  
当NPOでは、低コスト手法の開発や現地視察会、書籍の出版、テレビ出演や無電柱化の日(11月10日)のイベント、無電柱化出前授業(小学生)や無電柱化出張講義(大学生)など様々な広報活動を行っています。

**4. 研究開発・視察会**  
**6. 無電柱化授業**

**5. 広報活動**  
11月10日は「無電柱化の日」  
HPの運営  
出版物の発行

③

また5と6は、NPOの大事な取り組みの一つで、国民への無電柱化の理解を求めめるための運動をしています。災害時での無電柱化のメリットや課題をテレビや雑誌などを通じて伝えています。

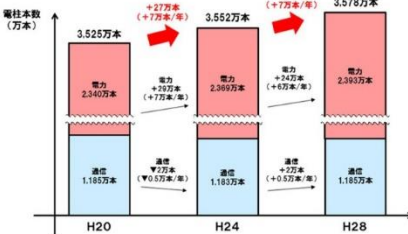
また11月10日は「無電柱化の日」で、各地でイベントを実施するなどして国民に無電柱化推進の意義を伝えています。小学校や大学でも授業・講義をしています。その他に出版物の発行やホームページ・SNSを利用した情報を発信しています。

## 2 団体の活動紹介

### 日本の電柱の現状

#### 日本の電柱の本数推移

電柱本数の推移は、以下のようになっており、毎年7万本増えています。

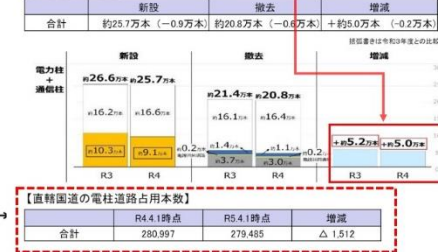


日本の電柱は、3600万本近くあり、しかも年間約7万本増えている。最近のデータでは約5万本の増加で推移している。最近の増加の原因は、新規住宅開発地での増加と、太陽光発電所から発電施設に引き込み際に設ける電柱の増加が主である。

右のR4年度のデータは、左の国交省道路局が調査したデータから、経産省資源エネルギー庁、総務省、国交省の都市局も加わり算出した。

#### 新設電柱調査結果概要(令和4年度)

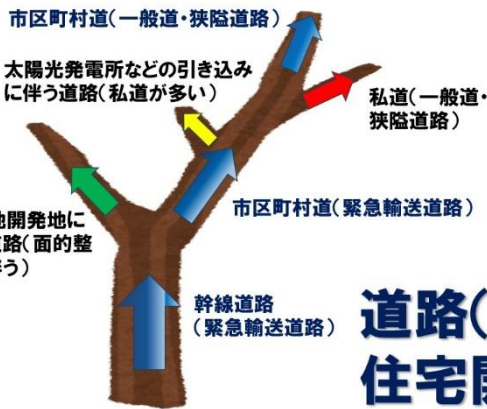
○令和4年度は全国で電柱(電力柱+通信柱)は、約5万本の増加。  
○直轄国道では全線で新設電柱の占用禁止措置を行っており、約1500本の減少。



がとまらず、経産省の資源エネルギー庁・エネ庁（電力を管轄）、総務省（通信）、国交省の都市局（面整備）も加わり、本格的に電柱増加の実態を調べました。

その結果、電柱増加の原因は新規住宅開発地と太陽光発電からの発電施設の引き込みが原因であることがわかりました。

## 2 団体の活動紹介



国や自治体は、幹線道路の無電柱化整備を着実に進めながら、市街地開発地や狭隘な道路への無電柱化を視野に入れ、無電柱化を進めている。

電線のない街づくり支援ネットワーク  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY  
当NPOは、民間の立場で、低コスト製品・施工の開発や工夫に努めている団体です。

づいた法律の規制緩和や民間技術の開発を促して、より効率的で低コストな無電柱化が進められるように国や電線管理者に要望や提案をしています。

⑥当 NPO は、ハウスメーカーやデベロッパー関連の会員さんもおり、定期的に無電柱化の住宅見学会を行っています。

## 2 団体の活動紹介



つくば市無電柱化住宅見学会 (2024.10)

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークでは、無電柱化に関わる様々な関係者と連携して無電柱化の推進に取り組んでいます。会員にはハウスメーカーさんや住宅に関わった方も含まれています。当 NPO が最近実施した、無電柱化住宅に関する取り組みをご紹介します。

## 省エネ・再エネ住宅との連携へ

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークでは、無電柱化に関わる様々な関係者と連携して無電柱化の推進に取り組んでいます。会員にはハウスメーカーさんや住宅に関わった方も含まれています。当 NPO が最近実施した、無電柱化住宅に関する取り組みを紹介しします。

⑦最近の住宅見学会の様子を紹介致します。左の上下2枚が東京都世田谷区、中央下が前頁にもあった茨城県つくば市、中央上と右下が埼玉県浦和市です。東京支部の理事が担当しており、関東方面の見学会をメインに展開しています。当プラットフォームの関係者さまとも連携して住宅見学会ができればありがたいです

## 2 団体の活動紹介

### 無電柱化住宅見学会



↑(上下とも)東京都等々力住宅見学会(2022.10)



←浦和美國 E-フォレスト住宅見学会(2023.10)↓



←つくば市無電柱化住宅見学会 (2024.10)



⑦無電柱化は、次のステージへと進みつつあります。それは「線から面へ」です。図で示しているミドリ・黄色・アカがこれから新たに無電柱化を進めていく場所になりますが、一番突端の市区町村道とあわせて無電柱化しなければならない場所は、実に日本の道路全体の約 9 割にも及びます。(しかも前のスライドで示した) 電線共同溝のような形式ではとてもじゃないですが、これから進める狭隘道路では無理です。コストも時間もかかります。そこで当 NPO では、エビデンスに基づ



## 2 団体の活動紹介



⑧

### 令和6年度東京都省エネ・再エネ住宅普及促進事業

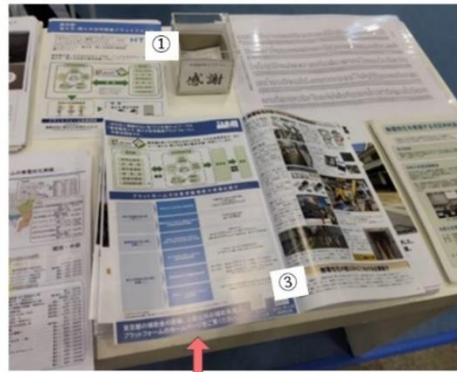
当NPOでは、本年の7/24(水)～7/26(金)に東京ビッグサイト東棟で開催した、メンテナンス・レジリエンス展（第12回無電柱化推進展）に出展し、住宅を主な用途とする開発事業により整備される住宅について省エネ・再エネ住宅の啓発活動を行いました。その一部をご紹介します。

#### 【省エネ・再エネ住宅の普及啓発の取組み】

- ①東京都省エネ・再エネ住宅の普及啓発チラシの配布
- ②東京都作成動画「省エネ・再エネ住宅の普及促進について」の放映
- ③無電柱化事業の現状についての小冊子の中に、省エネ・再エネ住宅の普及啓発（又は補助事業）の取組みを掲載して配布する。
- ④東京都省エネ・再エネ住宅のパネルを展示する。



実際の展示ブースの位置はここに配置  
スタッフが差しているカタログスタンドにも常備する。



25

⑧最後に、当NPOで取り組んだ「東京都省エネ・再エネ住宅の普及促進についての啓発活動」についてご紹介します。図の内容は、今年の7/24～26に東京ビッグサイトで開催されたメンテナンス・レジリエンス TOKYO・第12回無電柱化推進展の展示ブースの活動の様子です。

東京都の省エネ・再エネ住宅の普及啓発に関するチラシ・小冊子での掲載や、パネル展示、モニターを使っての動画紹介をさせていただきました。

①東京都省エネ・再エネ住宅の普及啓発チラシの配布

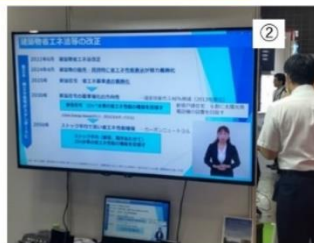
③無電柱化事業の現状についての小冊子の中に、省エネ・再エネ住宅の普及啓発（又は補助事業）の取組みを掲載しました。写真で示したようなかたちで展開しました。

## 2 団体の活動紹介



⑨

### 令和6年度東京都省エネ・再エネ住宅普及促進事業



当NPOの企画した無電柱化ミニセミナー（3～4回・15分～20分/日）の間に啓発動画②を他の動画とローテーションで放映する。  
上の写真は無電柱化ミニセミナー時の写真。



左の写真(全景)のつい立ての2枚目裏側に

◆「省エネ・再エネ住宅に住むメリット」のパネル④を展示させていただきました。

26

②はお借りした省エネ・再エネ住宅普及促進事業の説明動画を流している様子

④は省エネ・再エネ住宅に住むメリットを示したパネルの展示の様子です。

**他の資料も含めた全てのページはこちらの URL から確認できます！**

<https://nponpc.net/wp-content/uploads/2024/12/5f901b69abac934064ed819433b9d95f.pdf>

NPO 無電柱ネット事務局では、来年も無電柱化推進展の際、東京都の省エネ・再エネプラットフォームさまの省エネ・再エネ住宅補助金の啓発を条件に会場運営費やチラシ・小冊子の印刷代の補助をお願いしようと考えております。

住宅関連の会員企業さまと、都内で実施される省エネ・再エネ住宅推進・啓発の補助を含めた無電柱化住宅関連のイベント、その他、都内での無電柱化住宅見学会などが実施できないか検討しています。

「東京都省エネ・再エネプラットフォームの団体である」という強みを活かして、無電柱化住宅のイベントができそうでしたら、是非、当NPO事務局：塚田までお問い合わせ下さい。メール先：nponpc.t@gmail.com

# NPO 無電柱ネットのホームページで

## 会員企業さまの紹介コーナー広告協賛を募集致します！



会員の皆様

当NPOのホームページに法人会員さまのご紹介コーナーを設けることにいたしました。

### ◆紹介ページの掲載にあたって

- ・当NPOの法人会員(正会員・賛助会員)であること
- ⇒当NPOの会員募集のページはコチラから
- ・掲載にあたっては、掲載料をお支払いいただきます。
- ※法人正会員と法人賛助会員で掲載料金が異なります。(下表参照)
- ・掲載期間は、3か月間・6か月間・1年間を設けます。

掲載期間	法人正会員	法人賛助会員
3か月	1万円	2万円
6か月	2万円	4万円
1年	3万5000円	7万円

※広告費用は諸事情により、改訂することがあります。

- ・お申込後、掲載原稿データとリンク先をご用意ください。

⇒ご入金のご確認がとれましたら、掲載を進めます。

- ・掲載のタイミングは、毎月1日と16日に行います。
- ・掲載終了の約20日～1か月前に「継続」か「終了」かのお伺いをしますので、ご返事をお願い致します。
- ・掲載原稿データは、JPEGデータ、サイズは222px×58pxでお願い致します。
- ・クリックしたときに御社の広告へと進むリンクのURLをご用意ください。



現在、サンプルとしてNPO「会員募集中！」のバナーと会員募集のリンクを貼っています。

### NPO 無電柱ネットのホームページ、トップページ(現在)



図中の赤枠部分をクリックしていただくと左のような内容と申込フォームがあらわれます。

### NPO 無電柱ネット HP のトップページ

<https://nponpc.net/>

### NPO 法人会員紹介(募集の説明)のページ

[https://nponpc.net/npo\\_corporate-membership-information/](https://nponpc.net/npo_corporate-membership-information/)  
 問い合わせ先:事務局・塚田 nponpc.t@gmail.com

### NPO 無電柱ネットのホームページ、トップページ(現在)



図中の黄枠部分をクリックしていただくとNPOの会員募集のリンクがあらわれます。